

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mailで geppou@asj.or.jp宛、なお、原稿も必ず0422-31-5487迄Faxでお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

宇宙科学研究所助手公募

1. 助手 2名
2. (1) 宇宙圏研究系 高エネルギー天体物理学 第1部門、第2部門、各1名
(2) 神奈川県相模原市由野台 3-1-1 宇宙科学研究所
3. 4. 飛翔体を用いた高エネルギー天体物理学の研究。今後予定されるX線天文衛星の開発と観測運用が当面の主な勤務内容となるが、広く、高エネルギー天体物理学の観測的研究と観測機器開発に積極的な役割を果たす方を希望する。同部門は3つの研究部門よりなるが、協力して研究を行っている。（詳しくは <http://www.astro.isas.ac.jp> を参照されたい。）大学共同利用機関である本研究所の役割を理解し、共同利用諸計画の遂行に積極的な役割を果たしていただく必要がある。
5. 決定後できるだけ早い時期
7. (1) 略歴、(2) 研究歴、(3) 論文リスト及び主要論文別刷り、(4) 研究計画書、(5) 他薦の場合、推薦書2通、自薦の場合、本人について意見を

述べられる人2人の氏名と連絡先。

8. 2001年3月30日(金)必着
9. (1) 〒229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1 宇宙科学研究所 庶務課人事係
(2) 宇宙圏研究系 井上 一
Tel: 042-759-8149
Fax: 042-759-8455
e-mail: inoue@astro.isas.ac.jp
10. 封筒の表に、「宇宙圏研究系助手応募（推薦）書類・類在中」と朱書して下さい。
選考は、宇宙科学研究所運営協議会において行います。応募者に適任者がいない場合は決定を保留することがあります。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

宇宙科学研究所教官公募

1. 第93巻8号
2. 堂谷忠靖（宇宙科学研究所助手）
3. 2001年1月1日

大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻助手

1. 第93巻5号
2. 釣部 通（Yale 大学研究員）
3. 2001年1月1日

立教大学理学部物理学科教員

1. 第93巻10号
2. 北本俊二（大阪大学大学院理学研究科）
3. 2001年4月1日

その他

『一般むけ講演会の講師紹介リスト』

日本天文学会では、天文普及をすすめ人材育成をはかるために、プラネタリウムや科学館、学校などで一般むけの講演を希望する会員のリストを作成することにいたしました。このリストは天文学会が管理し、一般むけ講演会を企画する組織に情報提供をして、講師依頼の参考にしてもらうためのものです。関心のある方、記載を希望する方は、下記の天文教育委員会のページ <http://sunrise.hc.keio.ac.jp/~mariko/gakkai/kyouikui/> をご覧下さい。

理事長 田原博人
天文教育理事 加藤万里子

会務案内

欧文研究報告 (PASJ) からのお知らせ

PASJでは1999年以来、電子化の準備、さまざまな特集号の実施、掲載料の半額化など、より多くの方々に利用して頂くとともに、それによってジャーナルとしてのPASJの実力を高めるよう取り組んでまいりました。その結果、昨年は予想を越える多くの方々に投稿して頂き、すばる、VSOPという2度の特集もあわせて、総ページ数が過去最高となる1300頁以上に達しました。

今年から、PASJは更に大きく変わります。以前より、年会などをご報告しておりますように、本年刊行の第53巻より、雑誌のスタイルを大幅に変更します。紙、電子版とも製作を新たに株式会社ブレインに委託することになりました。今後は紙、電子版を連動して作成する方法をとり、より迅速に電子版を公開することが可能となります。その他、具体的には次のような変更があります。

表紙

表紙のデザインを変更します。これまでの表紙は1992年から使われてきましたが、この機会にデザインを一新することにしました。

ページレイアウト

フォントスタイルを、多くのジャーナルで標準的に使われているTimesに変更します。これにより見た目がすっきりし、読み易くなると考えています。余白領域の削減も行ない、1頁あたりの掲載文字数は約20%

増えます。また、数式の多い論文のために、1段組を新たに標準体裁の一つとして採用します。

カラー図

プレート方式による写真や図の掲載をとりやめ、カラー・モノクロとも本文に挿入することになります。紙版の製作工程では、版下データを紙に出力することなく直接印刷機に流すという方法を取るため、原因から印刷するよりも質の高い仕上がりになります。

紙質

紙質は従来やや厚くて重く感じられていたもので、薄くするとともに、カラー印刷にも対応した紙に変更します。昨年製作したGeneral Indexに近い紙質となります。

LaTeX マクロ

新規LaTeXマクロはLaTeX2eを前提とし、著者が原稿を作成する際のスタイルに関する負担をなるべく軽減できるよう、新たに設計されています。

電子版

今年は、より体裁の整った電子版を引き続き無料で公開致します。また、長い間実現が待たれていたADSとの相互リンクを張りますので、懸案であったサーキュレーションの問題も大幅に改善されると考えています。

著者校正

これまで紙のみで提供していた初校は、PDFまたはPS形式のファイルをダウンロードして頂くという方法に変わります。これにより、出張中または海外在住の場合でも、場所を選ばず迅速に初校の校正を行なっていただくことが可能になります。

掲載費用

カラー印刷の実費(約8万円/頁)は著者負担となりますが、これまでプレート掲載時に頂いていた用紙代15,000円は不要となり、結果として著者負担は約1万円安くなります。また別刷の費用についても、従来1ページ20円でしたが若干の見直しを行っています。掲載料の半額キャンペーンは平成12年12月31日で終了させていただきました。

一昨年より2年間ということを実施しておりました掲載料半額キャンペーンは、昨年末をもちまして終了致しました。この間、国内外を問わず多くの方からご投稿頂きありがとうございます。今後とも、新しくなったPASJをぜひよろしくお願い致します。なお、PASJに関してご意見がありましたら、遠慮なくoffice@pasj.asj.or.jpへメールでお寄せ下さい。

(欧文研究報告編集長 大橋隆哉)

正会員各位

社団法人日本天文学会 理事長 田原博人

2001 年度春季総会開催のお知らせ

一 綴じ込みの返信用葉書で 3 月 22 日(木)

までに到着するようご投票を！一

下記の通り 2001 年度春季総会を開催いたしますので、ご出席下さるようご案内申し上げます。

総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の 5 分の 1 以上の出席が必要です(定款第 42 条)。欠席される場合には、下記の議案および説明をよくお読みの上、次の(1)または(2)のどちらかの対応をして下さい。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

- (1) 綴じ込みの総会返信用葉書(以下「葉書」と呼ぶ)を用いて賛否の意志を表明する。
- (2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。「葉書」は、3 月 22 日(木)までに天文学会事務室に到着するように投函して下さい。「葉書」には切手を貼る必要はありません。なお、下記の「投票および委任状の書き方」を参照して下さい。

○ 2001 年度春季総会

日時：2001 年 3 月 27 日(火)

16 時 30 分～18 時 00 分

場所：千葉大学法経学部 105 講義室

○ 議案の内容と説明

第 1 号議案 2000 年度事業報告

天文月報 2001 年 3 月号 144～149 ページ参照

第 2 号議案 2000 年度収支決算報告、監査報告

天文月報 2001 年 3 月号 149～153 ページ参照

○ 「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない正会員は、綴じ込みの総会返信用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任状を提出して下さい。(委任状にはとくに指定の用紙はありません。)

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案について「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んで下さい。賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書ききれないときは別紙に書いて事務室宛にお送り下さい。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えません。

- 1) 所定の「葉書」を用いないもの。
- 2) 会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 氏名を自署していないもの。

- 4) 投票権のない者からの投票(正会員以外の者)。
- 5) 2 重投票

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱います。

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。
- 2) 白票。

委任状については、次の場合に無効となります。

- 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として、単に役職名の“理事長”または“議長”と書かれたもの。

【第 1 号議案】

社団法人日本天文学会 2000 年度事業報告書

2000 年度は、本会創立 93 年、社団法人設立後 67 年にあたる。

ア) 出版物の刊行

- 1) 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan) :
第 52 巻 1 号～6 号、総論文数 131 (うち Letter 15, 特集号すばる 15, VSOP12), 総頁数 1,334, 偶数月の 25 日発行
科学研究費補助金(刊行物) 680 万円
- 2) Publications of the Astronomical Society of Japan の General Index :
第 41 巻～50 巻 (1989～1998 年) 科学研究費補助金(二次刊行物) 127 万円 (1999 年度執行済)
- 3) 天文月報 :
第 93 巻 1 号～93 巻 12 号、総頁数 760, 総目次 9 頁, 毎月 20 日発行
9 月号付録:「特集磁気流体アウトフロー」52 頁
- 4) 年会予稿集 :
2000 年春・秋季年会の 2 回発行, 総頁数 556, 各 850 部
- 5) ジュニアセッション講演予稿集 45 頁, 150 部を印刷
- 6) 天文学会会員名簿を 10 月に発行
- 7) 定款(新内規)を 10 月に印刷し会員名簿に添付

イ) 年会の開催

1) 2000年春季年会(東京都)

◇記者会見: 4月2日(日) 東京大学山上会館
年会講演から4トピックスを選び, 5報道機関
と会見し資料を提供した。

同時に, ASTRO-E チームがアピールする場を提
供した。

◇年会: 4月3日(月)~4月5日(水) まで東京大学
理学部本郷キャンパスの7会場で行った。

◇参加者: 814名(うち学生338名)

◇講演数: 392(口頭202, 口頭+ポスター190,
ポストデッドライン2), また, 今年初めて, 中
学生と高校生が天文学の研究について発表するジ
ュニアセッションを4月3日(月)16時から18時
まで開催した。口頭発表14件(うち12件はポ
スターでも発表), ポスターのみの発表は2件で
した。

◇懇親会: 4月4日(金) 18:30~20:30
生協第二食堂 参加者155名(うち学生26名)

◇天文教育フォーラム: 「宇宙を教室の中へ-天文
学の室内実験-」というテーマで体で感じるこ
とのできる天文学実験, 教具, 教材の実演, 展示を
行った。口頭講演(実演)は15件あり, 参加者
約200名でした。(天文教育普及研究会と共催)

◇公開講演会: 4月2日(日)14時~17時

東京大学安田講堂 参加者120名

「新しい望遠鏡が見た初めての宇宙」

1. 富士山頂サブミリ波望遠鏡で探る星の誕生

山本 智氏(東京大学助教授)

2. すばる望遠鏡で見る遠宇宙

家 正則氏(国立天文台教授)

◇特別講演: 4月5日 14:30~16:30

B会場 参加者180名

「宇宙論でどこまで分かったか」

講演1. QSO吸収線で探る宇宙初期元素合成

David Tytler 氏

(カリフォルニア大学サンディエゴ校教授)

講演2. 宇宙論の来し方行く末

須藤 靖氏(東京大学助教授)

◇ジュニアセッション: 4月3日(月)

16:00~18:00 B会場, 参加者200名

◇保育室: 今回, 利用希望者がいなかったので設置
しなかった。

2) 2000年秋季年会(群馬県)

◇記者会見: 10月4日(水) 13:30~15:00
群馬県総合教育センターにおいて年会講演から5
トピックスを選び, 8報道機関と会見し資料を提
供した。

◇年会: 10月5日(木)~10月7日(土)群馬県総合
教育センター(伊勢崎市)の8会場(口頭会場7,
ポスター会場1)

◇参加者: 659名(うち学生239名)

◇講演数: 431(口頭: 237, 口頭+ポスター:
160, ポスター: 34, ポストデッドライン: 1)

◇研究奨励賞受賞記念講演: 10月6日(金)

17:30~18:00 A会場(講堂)

「星間分子と星間塵表面反応についての理論的
研究」

高橋順子氏(国立天文台天文学データ解析計算
センター教務補佐員)

◇特別講演会: 10月7日(土)

15:00~15:40 A会場(講堂)

「高強度レーザーを用いた実験室天体物理室」

高部英明氏(大阪大学レーザー核融合研究セン
ター教授)

聴衆150名

◇天文教育フォーラム: 10月5日(木)

14:30~16:00 A会場, 参加者140名

「新世紀のプラネタリウム利用を提案しよう」

◇特別セッション(LMSA)

10月5日(木)16:10~18:00

A会場(講堂), 参加者220名

日本学術会議天文学研究連絡委員会及び同天
文学国際共同観測専門委員会共催で, 以下の3
講演が行われた。

1. ラムサ・アルマの切り拓くサイエンス

山本 智氏(東大・理)

2. 世界の天文学の中のラムサ・アルマ

海部宣男氏(国立天文台)

3. ラムサ・アルマ計画はどこまで進んだか

石黒正人氏(国立天文台)

◇企画セッション: 「突発天体・突発現象」と「銀
河形成」の2セッションが開催された。

◇公開講演会: 10月8日(日)群馬県総合教育セン
ター講堂, 参加者160名

「現代天文学・宇宙への挑戦」

1. 宇宙を考える

佐藤文隆氏(京都大学教授)

2. 宇宙を観る

海部宣男氏(国立天文台台長)

◇エクスカージョン

10月7日(土)16:00~20:00

県立ぐんま天文台見学, 参加者60名

◇懇親会: 参加者200名(うち学生42名)

◇保育室: 2家族, のべ5人の利用者

ウ) 総会

1) 2000年春季総会

2000年4月4日(金)東京大学理学部4号館
各賞の授与式

★天体発見賞

天体発見賞選考委員会の選考を経て、評議員会で以下の5件5名に1999年度天体発見賞を贈呈することが決定された。

山本 稔：いて座新星 Nova Sgr 1999=V 4444 Sgr
多胡明彦：わし座新星 Nova Aql 1999=V 1493 Aql
青木昌勝：ろ座超新星 SN 1999eu NGC 1097
高見沢今朝雄：うみへび座超新星 SN 1999 gh
NGC 2986

串田麗樹：おおぐま座超新星 SN1999gi NGC3184

★天体発見功労賞

串田麗樹：かに座超新星 SN1999aa NGC2595

★林忠四郎賞

1999年度林忠四郎賞候補者の推薦4件に対して、林忠四郎賞選考委員会の選考を経て、中島紀氏に授与された。

中島紀氏：国立天文台 赤外天文部門助手「低温褐色矮星の発見」

★欧文報告論文賞

1999年度欧文報告論文賞候補の推薦1件に対して、林忠四郎賞選考委員会の選考を経て、下記の論文に授与された。

論文名：Discovery of Non-Thermal X-Ray from the Northwest Shell of the New SNR RX J1713.7-3946 : The Second SN 1006 ?

(Publ.Astron.Soc.Japan, vol. 48, 1996, pp. 157-170.)

共著者：小山勝二，衣笠健三，松崎恵一，西内満美子，松崎 睦，鳥居研一，山内茂雄，Bend ASCHENBACH
以上8名

議題：

1. 1999年度事業報告
2. 1999年度収支決算報告・監査報告
3. 任期2000年1月1日～2003年12月31日の評議員候補者の承認
4. その他
 - (1) 「国立大学・大学共同利用機関の独立行政法人化」問題に関する、日本天文学会及び日本学術会議天文学研究連絡委員会との共同声明文を約200の学会関係機関と文部省など政府関係機関に送付した。
 - (2) ASTRO-Eの打ち上げの失敗に関して、宇宙科学研究所の井上 一氏から説明が行われた。
- 2) 2000年度秋季総会
2000年10月6日(金) 16:00～17:30
群馬県総合教育センター(伊勢崎市)
議事に先立ち、五島プラネタリウム天文博物館

(2001年3月末閉館)への感謝状贈呈及び1999年度研究奨励賞の授与式が行われた。

★研究奨励賞

1999年度研究奨励賞候補者の推薦5件に対して、研究奨励賞選考委員会は選考を行い、評議員会の議論を経て下記の受賞者を決定し、総会にて授与式及び記念講演を行った。

受賞者：高橋順子氏(国立天文台天文学データ解析計算センター教務補佐員)

研究テーマ：星間分子と星間塵表面反応についての理論的研究

議題：

1. 2001～2002年度天文学会理事・監事の選任
2. 2001～2002年度選挙管理委員の承認
3. 2001年度事業計画案の承認
4. 2001年度収支予算案の承認
5. その他
 - (1) 細則の条番号がアラビア数字になっているものを「第n条」という表記にする提案が承認された。
 - (2) 天文学会員の支持によりASTRO-E再打ち上げに向けて動き出したことに関して、宇宙科学研究所の井上 一氏から感謝の意の表明があった。
 - (3) 2001年から、PASJの出版社、販売委託会社に変更になることについて、有本信雄理事が説明を行った。
 - (4) 立松健一会計理事から、現在、学会会費未納者が約20%居り未納金額は1,000万円にのぼり、このために学会運営に支障をきたしたことが報告された。また同理事から、未納者に対して督促手数料を徴収することを検討していることが報告された。

工) 評議員会および理事会

〈評議員会〉

2000年1月29日(土)

東京大学理学部3号館 303教室

議長：半田利弘氏

議題：

1. 各賞の受賞者の決定
天体発見賞5名，天体発見功労賞1名，林忠四郎賞1名，欧文報告論文賞1件8名(共著)，研究奨励賞候補者は7月の評議員会までに選考することになった。
2. 1999年度日本天文学会事業報告
3. 1999年度日本天文学会収支決算報告・監査報告
4. その他

- (1) 第 18 期学術会議会員候補者の選挙結果報告
- (2) PASJ の運営状況の説明, 投稿料半額の措置期間は 2000 年度中とすることが承認された。
- (3) 民間の賞及び研究助成金の推薦を学会として, より多くするべきであるとの意見が古在由秀氏から出され, その方針を支持することにした。

2000 年 4 月 4 日(火)

東京大学山上会館 203 号室

議長: 須藤 靖氏

議題:

1. 2000 年春季年会について
2. 1998 ~ 1999 年分の会費未納者の除名
3. その他
- (1) 今年会で初めて行ったジュニアセッションの実施報告があり, 発表内容のレベルが高く, 大変盛況であった。参加者は 200 名を越えた。今後も継続して欲しいという意見が大勢をしめた。

2000 年 7 月 15 日(土)

国立天文台講義室 (三鷹)

議長: 奥田治之氏

議題:

1. 2001 年度事業計画案
2. 2001 年度収支予算案
3. 1999 年度研究奨励賞受賞候補者
選考委員会推薦の通り高橋順子氏に決定した。
4. 2001 ~ 2002 年度の理事・監事候補者, 選挙管理委員会委員候補者の説明及び林忠四郎賞受賞候補者選考委員会委員の了承をした。
5. その他
- (1) PASJ の製作委託先, 販売委託先を 2001 年度よりそれぞれプレイン (株) と丸善に変更することについて有本信雄理事が説明をした。
- (2) 天文学会事務局が国立天文台テープ保管庫跡へ引っ越すことが報告された。
- (3) 五島プラネタリウムの閉館に伴い, 秋季総会で天文学会より感謝状を贈呈することが了承された。

2000 年 10 月 6 日(金)

群馬県総合教育センター 701 号室

議長: 加藤万里子氏

議題:

1. 2000 年日本天文学会秋季年会の報告
2. 立松健一会計理事より未収会費徴収の方策案として, 「督促手数料」を導入する事が提案された。基本的な方向は承認されたが, 理事会でさらに検討するよう要望された。
3. その他

〈理事会〉

2000 年 1 月 22 日(土)

国立天文台会議室 (三鷹)

議題:

1. 1999 年度事業報告
2. 1999 年収支決算報告・監査報告
3. 春季年会・公開講演会・総会について
4. 新入正会員の承認
5. 各委員会の内規の改訂案の提示
6. PASJ の運営状況, 投稿料半額措置期間
7. その他

- (1) 「国立大学・大学共同利用機関の独立行政法人化」に関する日本天文学会と天文研連との共同声明文を学会の関係機関, マスコミ, 文部省, 学術会議等へ送付する事を検討することにした。
- (2) 民間の賞及び研究助成金の推薦を, 学会としてより多くするべきであるとの意見書が, 前評議員古在由秀氏から事前に出され, その方針を支持することにした。
- (3) 伊藤孝士氏を天文月報編集委員に承認した(増員)。

2000 年 4 月 5 日(水)

東京大学山上会館 203 号室

議題:

1. 春季年会の報告
2. 新入正会員の承認
3. 2000 年秋季年会以降の開催地
4. その他

2000 年 7 月 8 日(土)

13:00 ~ 16:30 国立天文台 会議室 (三鷹)

議題:

1. 2001 年度事業計画案
2. 2001 年度収支予算案
3. 2001 ~ 2002 年度の役員 (理事長, 副理事長, その他の理事, 監事), 選挙管理委員, 林忠四郎賞選考委員の各候補者案を作成した。
4. 2001 ~ 2002 年度の各委員会委員候補者が提示され了承された。
5. 新入正会員の承認
6. 2001 年度から, PASJ の出版はプレイン(株)に販売代理店は丸善に変更する経緯が説明された。PASJ のサーバーを学会事務室内に移設し, 編集委員会が維持管理をすることとなった。
7. 秋季年会・総会について
8. その他
- (1) JCB 自動引き落とし用紙を会費未納者に送付することにした。
- (2) 学会事務局の移転

2000年 10月 7日(土)

群馬県総合教育センター (伊勢崎市) 701室

議題

1. 秋季年会の報告
2. 新入正会員の承認
3. 2001年春季年会時のジュニアセッションについて
4. その他
 - (1) 2000年度のPASJ総ページ数を400ページほど増やす措置を承認した。

〈実務理事会〉

2000年 5月 27日(土)

11:00 ~ 15:00 国立天文台 会議室

議題

1. 2001 ~ 2002年度の役員、監事、選挙管理委員、林忠一郎賞選考委員会委員の各候補者の選定
2. 2001年度事業計画案、収支予算案
3. 「別姓使用のお願い」について議論し、42研究機関長に「別姓使用のお願い」の文を送付することにした。
4. 2001年度からPASJの出版製作をブレイン(株)に販売を丸善に移行することが検討された。
5. 民間の賞への推薦と研究助成に応募するように働きかけることを了承した。

2000年 10月 4日

14:30 ~ 16:00 群馬県総合教育センター

1. 未納会費徴収の方策：督促手数料の導入を検討
2. 学会備品の貸し出しのルール
3. IAUアジア太平洋地域会議が日本で開催されるため、IAU京都総会基金の凍結を継続する。

4. その他

オ) 委員会、国際会議、選挙、その他

1) 委員会関係

◇研究奨励賞選考委員会：

2000年度の研究奨励賞受賞候補者4名6件の推薦を頂き、この中より受賞候補者を選考した。

◇林忠一郎賞選考委員会：

2000年度の林忠一郎賞受賞候補6件の推薦を頂き、受賞候補者を選考した。また、欧文報告論文賞の受賞候補については推薦された2件の中より受賞候補論文を選考した。

◇天体発見賞選考委員会：

2000年度の天体発見賞候補者及び天体発見功労賞候補者を選考した。

◇内地留学奨学金選考委員会：

2000年度の内地留学奨学金の留学生を募集し、応募者2名より1名を選考した。

◇早川幸男基金選考委員会：

若手天文学研究者の海外学術研究渡航旅費補助の募集を年4回行い、応募者32名のうち22名に2,578,330円を援助した。佐藤明達氏より当基金へ400万円の寄付を頂きました。

◇IAU京都総会記念基金：

本基金は第23回京都IAU総会運営委員会からの寄付金643万円を創設基金として1998年4月に設立された。

2002年に、日本でIAUアジア太平洋地域会議が開催される予定があるので、本年は申請の受付を控えることにした。現在、410万円の基金が残っている。

2) 国際会議

◇国際・国内シンポジウムの協賛8件、後援3件、

会員数

2000年12月31日現在の会員数は以下の通りである。

	正会員(含む学生会員)	準会員	団体会員	賛助会員	合計
1999年12月31日	1,387 (287)	1,401	41	46	2,875
入会	67	36	2	2	107
退会	54	93	1	3	151
移籍(増)	7	11	0	0	18
移籍(減)	11	7	0	0	18
2000年12月31日	1,396 (260)	1,348	42	45	2,831

(注：移籍とは正会員、準会員と団体会員の間での移動のことを指す)

1998年度から2年間会費が未納であった会員に対して督促状およびメール・電話にて会費納入の催促を事務局及び庶務理事が行った。その結果、定款第12条にもとづき評議員会の議決を経て、正会員18名(内学生7名)、準会員8名が除名された。

共催3件、および国立天文台特別公開、すばる望遠鏡完成式の後援を行なった。

3) 選挙

◇2001年度科学研究費補助金審査委員候補者の選挙を行った(7月)

◇1999年11～12月に行った選挙結果を踏まえ、2000年～2002年度の日本学術会議会員候補者の推薦を行った(3月)

◇第18期日本学術会議天文学研究連絡委員会委員候補者の選挙を7月に行った(任期2000年～2003年)

◇大学評価・学位授与機構長(木村 孟氏)より、7月に「大学評価委員会専門委員」及び「評価委員」の候補者の推薦依頼があり、理事長・副理事長が候補者の推薦を行った。

4) 民間の賞及び研究助成

◇第16回井上研究奨励賞受賞(井上科学振興財団) 国立天文台・理論天文学研究系助手 戸谷友則氏「ガンマ線バーストから探る宇宙の星形成史と超エネルギー-宇宙線」

◇第31回(平成12年度)三菱財団自然科学研究助成

東京大学大学院理学系研究科助手 土井 守氏「ダイクロミックミラー型分光器による高効率天体観測の研究」助成金額800万円

◇学术交流費：賛助会員会費で若手研究者の研究成果の発表者に対して、年会旅費補助を行う。2000年度の春季年会は東京大学、秋季年会はぐんま天文台がホストになり群馬県総合教育センター(伊勢崎市)に於て開催された。105名に1,401,000円の旅費補助を行った。

◇文部省より、科学研究費補助金「研究成果公開促進費」：研究成果発表(B)に対して、660,000円が交付された。

◇日本学術振興会より、科学研究費補助金「研究成果公開促進費」：(学術定期刊行物)に対して、6,800,000円が交付された。

◇会員からのPASJ寄贈54部のうち40部を発展途上国及びPASJ購入困難な国(21ヶ国)に寄贈している。

◇第40回東レ科学技術研究助成を申請した、東京大学大学院理学系研究科助教授山本 智氏の「可搬型サブミリ波望遠鏡による中性炭素原子の銀河面サーベイ」に1,200万円が交付された。

◇第41回東レ科学技術賞候補者1名(推薦書類1件)を推薦した。

◇財団法人山田科学振興財団「2000年度研究助成」の申請4件の中から2件を選び推薦した。

(文責 庶務理事：大石雅寿)

【第2号講案】

社団法人 日本天文学会

2000年度 収支計算書

(2000年1月1日～2000年12月31日)

【一般会計】

【収入の部】

(単位：円)

勘定科目 大・中・小科目	予算額	決算額
基本財産運用収入	90,000	38,359
基本財産利息収入	90,000	38,359
会費収入	33,680,000	35,028,275
正会員会費収入	18,180,000	19,925,745
学生会員会費収入	3,900,000	3,772,130
準会員会費収入	11,200,000	10,910,400
団体会員会費収入	400,000	420,000
事業収入	20,249,000	31,500,039
欧文研究報告発行业収入	9,849,000	19,918,619
購読料	4,385,000	5,071,657
掲載料	3,664,000	6,245,799
別刷代	1,800,000	8,601,163
天文月報発行业収入	4,700,000	4,635,120
購読料	900,000	753,375
別刷代	600,000	1,191,870
広告料	3,200,000	2,689,875
年会事業収入	5,700,000	6,946,300
予稿集頒布収入	2,300,000	2,357,800
登録料収入	3,150,000	4,381,000
年会雑収入	250,000	207,500
補助金等収入	4,700,000	7,460,000
刊行物補助金	4,000,000	6,800,000
公開講演会補助	700,000	660,000
寄付金収入	10,000	0
寄付金収入	10,000	0
印税収入	2,200,000	1,571,598
星座早見印税収入	1,700,000	1,499,400
その他の印税収入	500,000	72,198
雑収入	400,000	2,188,792
受取利息	100,000	29,872
特別企画収入	100,000	1,271,460
その他の収入	200,000	887,460
特定預金取崩収入	705,000	713,749
退職預金取崩収入	705,000	713,749
当期収入合計(A)	62,034,000	78,500,812
繰越収支差額	9,145,789	18,501,925
収入合計(B)	71,179,789	97,002,737

[支出の部]

社団法人 日本天文学会
2000年度 貸借対照表
(2000年12月31日現在)

勘定科目 大・中・小科目	予算額	決算額
事業費	49,923,000	59,657,774
欧文研究報告発行事業費	23,203,000	33,682,149
直接出版費	14,400,000	21,126,539
別刷印刷費	800,000	2,261,376
人謝料	5,000,000	6,662,908
送料運搬費	770,000	1,297,700
消耗品費	2,083,000	2,179,427
雑費	100,000	74,359
	50,000	79,840
天文月報発行事業費	19,870,000	19,391,007
直接出版費	11,700,000	10,813,059
別刷印刷費	580,000	756,420
人謝料	1,030,000	1,299,168
送料運搬費	2,560,000	2,705,027
消耗品費	2,900,000	3,197,978
雑費	600,000	460,757
	500,000	158,598
年会事業費	6,850,000	6,584,618
予稿集印刷費	2,000,000	2,116,380
送料運搬費	1,100,000	841,200
会場費	500,000	242,237
消耗品費	1,200,000	1,070,250
人謝料	500,000	313,675
雑費	1,050,000	1,299,282
旅費交通費	500,000	574,454
	0	127,140
管理費	19,885,000	24,303,591
人謝料	8,300,000	9,077,087
会議費	300,000	961,599
負担金	220,000	291,001
旅費交通費	160,000	147,000
送料通信費	1,000,000	1,065,015
什器備品費	1,300,000	1,310,841
消耗品費	1,300,000	1,512,786
印刷製本料	1,100,000	777,750
光熱水借料	1,200,000	2,491,583
賃保除料	260,000	125,386
諸手数料	2,900,000	2,154,489
修繕費	100,000	114,690
書籍購入費	250,000	722,192
特別企画調製費	300,000	94,290
雑費	300,000	154,325
退職金支出	200,000	1,029,105
繰入金支出	500,000	972,978
徴収不能額	195,000	908,749
	0	2,000
	0	390,725
特定預金支出	705,000	0
退職給与引当預金支出	705,000	0
予備費	666,789	—
当期支出合計(C)	71,179,789	83,961,365
当期収支差額(A-C)	△9,145,789	△5,460,553
次期繰越収支差額(B-C)	0	13,041,372

【一般会計】

(単位：円)

勘定科目	金額		
大科目・中科目			
[資産の部]			
流動資産			
現金預金	4,636,547		
未収会費	4,950,275		
貯蔵品	1,423,025		
有価証券	5,700,000		
未収入金	3,313,405		
流動資産合計		20,023,252	
固定資産			
基本財産			
投資有価証券	12,310,000		
基本財産合計	12,310,000		
その他固定資産			
什器備品	4,482,945		
投資有価証券	1,200,000		
減価償却引当預金	3,518,100		
その他固定資産合計	9,201,045		
固定資産合計		21,511,045	
資産合計			41,534,297
[負債の部]			
流動負債			
未払金	4,615,855		
前受金	48,000		
前受会費	895,000		
流動負債合計		5,558,855	
負債合計			5,558,855
[正味財産の部]			
正味財産			35,975,442
(うち基本金)			(12,310,000)
(うち当期正味財産減少額)			(6,283,644)
負債及び正味財産合計			41,534,297

社団法人 日本天文学会
2000年度 正味財産増減計算書
(2000年1月1日～2000年12月31日)

【一般会計】

(単位：円)

勘定科目	金額		
大科目・中科目			
[増加の部]			
資産増加額			
什器備品増加額	1,244,355		
退職給与引当預金増加額	1,058		
減価償却引当預金増加額	3,660	1,249,073	
負債減少額			
退職給与引当金取崩額	713,749	713,749	
増加額合計			1,962,822
[減少の部]			
資産減少額			
当期収支差額	5,460,553		
什器備品償却額	1,135,229		
什器備品廃棄額	562,080		
貯蔵品減少額	373,797		
退職給与引当金取崩額	713,749	8,245,408	
負債増加額			
退職給与引当金繰入額	1,058	1,058	
減少額合計			8,246,466
当期正味財産減少額			6,283,644
前期繰越正味財産額			42,259,086
期末正味財産合計額			35,975,442

収支計算書

(2000年1月1日～2000年12月31日)

【学術交流費会計】

(単位：円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
賛助会員会費収入	1,920,000	1,890,000
受取利息	2,000	2,000
当期収入合計(A)	1,922,000	1,892,000
前期繰越収支差額	1,408,837	1,397,715
収入合計(B)	3,330,837	3,289,715
[支出の部]		
学術交流費	2,000,000	1,401,000
雑費	3,000	1,905
当期支出合計(C)	2,003,000	1,402,905
当期収支差額(A)-(C)	△ 81,000	489,095
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,327,837	1,886,810

貸借対照表

(2000年12月31日現在)

【学術交流費会計】

(単位：円)

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金預金	1,766,810		
未収会費	120,000		
流動資産合計		1,886,810	
資産合計			1,886,810
[正味財産の部]			
正味財産			1,886,810
(うち当期正味財産増加額)			(489,095)
負債及び正味財産合計			1,886,810

収支計算書

(2000年1月1日～2000年12月31日)

【内地留学奨学会計】 (単位：円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
受取利息	20,000	12,202
当期収入合計(A)	20,000	12,202
前期繰越収支差額	4,390,000	4,416,276
収入合計(B)	4,410,000	4,428,478
[支出の部]		
奨学金支出	250,000	208,000
雑費	3,000	1,260
旅費補助支出	50,000	0
当期支出合計(C)	303,000	209,260
当期収支差額(A)-(C)	△283,000	△197,058
次期繰越収支差額(B)-(C)	4,107,000	4,219,218

【研究奨励賞会計】 (単位：円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
寄付金収入	250,000	278,000
受取利息	1,000	608
当期収入合計(A)	251,000	278,608
前期繰越収支差額	5,471,454	5,737,617
収入合計(B)	5,722,454	6,016,225
[支出の部]		
研究奨励賞支出	200,000	200,000
雑費	0	67,155
旅費補助支出	50,000	28,000
当期支出合計(C)	250,000	295,155
当期収支差額(A)-(C)	1,000	△16,547
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,472,454	5,721,070

【早川幸男基金会計】 (単位：円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
寄付金収入	500,000	4,000,000
受取利息	130,000	56,942
当期収入合計(A)	630,000	4,056,942
前期繰越収支差額	16,933,987	21,902,979
収入合計(B)	17,563,987	25,959,921
[支出の部]		
研究補助支出	2,000,000	2,578,330
雑費	10,000	5,880
当期支出合計(C)	2,010,000	2,584,210
当期収支差額(A)-(C)	△1,380,000	1,472,732
次期繰越収支差額(B)-(C)	15,553,987	23,375,711

貸借対照表

(2000年12月31日現在)

【内地留学奨学会計】 (単位：円)

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金預金	519,218		
有価証券	3,700,000		
流動資産合計		4,219,218	
資産合計			4,219,218
[正味財産の部]			
正味財産			4,219,218
(うち当期正味財産減少額)			(197,058)
負債及び正味財産合計			4,219,218

【研究奨励賞会計】 (単位：円)

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金預金	5,721,070		
流動資産合計		5,721,070	
資産合計			5,721,070
[正味財産の部]			
正味財産			5,721,070
(うち当期正味財産減少額)			(16,547)
負債及び正味財産合計			5,721,070

【早川幸男基金会計】 (単位：円)

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金預金	3,375,711		
有価証券	20,000,000		
流動資産合計		23,375,711	
資産合計			23,375,711
[正味財産の部]			
正味財産			23,375,711
(うち当期正味財産増加額)			(1,472,732)
負債及び正味財産合計			23,375,711

収支計算書

(2000年1月1日～2000年12月31日)

【林 忠 四 郎 賞 会 計】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額
[収入の部]		
受 取 利 息	100,000	44,384
当期収入合計 (A)	100,000	44,384
前期繰越収支差額	16,175,149	16,497,086
収入合計 (B)	16,275,149	16,541,470
[支出の部]		
林 賞 支 出	300,000	300,000
雑 費	30,000	19,033
旅費補助支出	50,000	114,500
当期支出合計 (C)	380,000	433,533
当期収支差額 (A) - (C)	△ 280,000	△ 389,149
次期繰越収支差額 (B) - (C)	15,895,149	16,107,937

【IAU 記念基金会計】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額
[収入の部]		
受 取 利 息	10,000	13,249
当期収入合計 (A)	10,000	13,249
前期繰越収支差額	4,000,000	5,005,095
収入合計 (B)	4,010,000	5,018,344
[支出の部]		
雑 費	5,000	630
旅費補助支出	3,000,000	900,000
当期支出合計 (C)	3,005,000	900,630
当期収支差額 (A) - (C)	△2,995,000	△887,381
次期繰越収支差額 (B) - (C)	1,005,000	4,117,714

貸借対照表

(2000年12月31日現在)

【林 忠 四 郎 賞 会 計】

(単位：円)

科 目	金 額		
[資産の部]			
流 動 資 産			
現金預金	607,937		
有 価 証 券	15,500,000		
流動資産合計		16,107,937	
資 産 合 計			16,107,937
[正味財産の部]			
正 味 財 産			16,107,937
(うち当期正味財産減少額)			(389,149)
負債及び正味財産合計			16,107,937

【IAU 記念基金会計】

(単位：円)

科 目	金 額		
[資産の部]			
流 動 資 産			
現金預金	117,714		
有 価 証 券	4,000,000		
流動資産合計		4,117,714	
資 産 合 計			4,117,714
[正味財産の部]			
正 味 財 産			4,117,714
(うち当期正味財産減少額)			(887,381)
負債及び正味財産合計			4,117,714

監査報告書

2000年度事業報告書、収支計算書及び財産目録等について、関係書類とともにその内容を監査した結果、法令および定款に照らして正当であることを認めます。

2001年1月10日 社団法人日本天文学会
 監事 奥田治之 印
 監事 小杉健郎 印

(社)日本天文学会へ、2000年10月16日から2001年1月15日までの間に入会された方、退会された方をお知らせします。

***新入正会員 (22名)**

有吉誠一郎 東北大・大学院理・天文 (在学)
 山崎高幸 明星大・大学院理 (在学)
 渡辺 悟 東大・大学院理・天文 (在学)
 直井隆浩 東大・大学院理・地球惑星科学 (在学)
 杉本香菜子 名古屋大・大学院 (在学)
 古谷久美子
 松山直仁 鹿児島大 (在学)
 木村公洋 大阪府立大・総合科学・自然環境科学 (在学)
 豊田秋一郎 名大・大学院理 (在学)
 木村仁彦 東大・大学院理 (在学)
 早嶋公威 北大・大学院理・物理 (在学)
 北 洋 北大・大学院理・量子物理工 (在学)
 鈴木竜二 東北大・大学院理・天文 (在学)
 加藤大輔 名大・大学院理 (在学)
 土居明広 東大・大学院理 (在学)
 島 尚徳 京大・大学院理・宇宙物理 (在学)
 高根澤 隆 鹿児島大
 秋田谷 洋 東北大・大学院理・天文 (在学)
 酒向重行 東大・大学院理・天文 (在学)
 市来浄興 東大・大学院理・天文 (在学)
 桑原 健 東大・大学院理・物理 (在学)
 加用一者 東大・大学院理・物理 (在学)

***新入準会員 (8名)**

馬場淳一 東北大・理・宇宙地球物理
 五味正恵 日本化薬 (株) 色材研究所
 壺内千尋 立命館大・理工・物理
 石橋之宏 東大・大学院理 (在学)
 倉山智春 東大・大学院理・天文 (在学)
 松浦典文 東郷町立春木中学
 川口裕正 自由業
 矢田詔久 (株)ミヤデン

***新入団体会員 (2名)**

明星大学文化会天文部 松村
 九州東海大学付属図書館熊本図書館

***移籍会員 [準→正] (1名)**

山田隆文

***移籍会員 [正→準] (16名)**

西 恵三
 渡辺寛之
 難波 収
 上西啓祐
 斉尾英行
 岡田智了
 佐藤武志
 渡邊由浩
 村上明德
 田中 済
 永山葉子
 大野陽朗
 中永 毅
 中山 浩
 小出美香
 河野健三

***退会賛助会員 (3名)**

天文博物館五島プラネタリウム
 東京電力(株)中央給電指令所
 (株)アスキー アスキー編集部

***退会団体会員 (1名)**

獨協大学図書館

***退会正会員 (23名)**

田尻祐紀子
 Natalia P. Kukarkina
 恵木正史
 エリアニ アルディ
 難波賢吾
 阿部理平
 虎尾正久
 西田幸平
 坂本 和
 遠山大輔
 町田吉弘
 和田昭夫
 宝田克男
 中野太郎
 瀬戸美紀
 根岸武利
 竹内 充
 大江昌嗣
 岸 幸正
 小織雅和
 細川貴史

Baltasar Vila-Vilaro

***退会準会員 (43名)**

石澤和彦 村山 曉
 石原俊洋 森 秀一
 井上 朗 森本正子
 今井英樹 山縣弥栄子
 采原正歳 楠 博幸
 大谷豊和 佐藤 博
 大村賢吾 石井秀一
 岡村啓一郎 坂野仁士
 菊地直吉 坂本安正
 五味一明 大倉正宏
 静永浩二 片岡直人
 杉谷幸郎 合津浩一
 渡嘉敷 哲 神山敬三
 永嶋 宏 内山雅之
 成富 敬 梅原正男
 長谷川義彦 中村昌次
 畑 淳一 松山広史
 畑 隆一 馬淵一枝
 浜島 尚 吉本田鶴子
 本間壽雄 石井彰洋
 牧野忠男 那須俊一郎
 増田末治

編集委員 上野宗孝 (編集長), 伊藤孝士, 大橋正健, 小野智子, 斎藤芳隆, 田村元秀, 土橋一仁, 内藤統也, 和田桂一
 平成 13 年 2 月 20 日 発行人 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 印刷発行 印刷所 〒 162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷
 定価 700 円 (本体 667 円) 発行所 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 Tel: 0422-31-1359 (事務室) / 0422-31-5488 (月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
 日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: geppou@asj.or.jp DTP: 峯尾由紀子